

2010年3月期

第30期 第2四半期決算説明会 ご説明資料

平成21年11月

寺崎電気産業株式会社

目次

■ 会社の概要	P3
■ 事業概要	P4
■ 当社を表すキーワード	P6
■ 世界造船業界の動向	P7
■ 第2四半期連結決算のポイント	P10
■ 第2四半期連結決算概要	P11
■ 2010年3月期業績予想	P18
■ 経営ビジョン	P23

本資料お取扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

会社概要

- 社 名 : 寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.
- 本 社 : 大阪市阿倍野区阪南町7-2-10
- 代 表 者 : 代表取締役社長 藤田 正一
- 創 業 : 1923年10月
- 設 立 : 1980年 4月
- 資 本 金 : 12億3,664万円
- 従 業 員 数 : 1,889人(2009年9月末現在 連結)
- 事 業 内 容 : 電気機械器具の製造販売
- 連結子会社 : 国内5社、海外10社
- 株 式 状 況 : 発行済み株式数 13,030,000 株
(9月末現在) 株主数 731 名
 单元株数 100 株
- 決算期 : 3月末日

事業概要

システム事業



「船舶用」

- 配電制御システム
- 機関監視制御システム
- 停泊中船舶への陸電供給システム 等



「産業用」

- 配電制御システム
- コージェネレーションシステム
- 医療用機器 等



機器(ブレーカ)事業



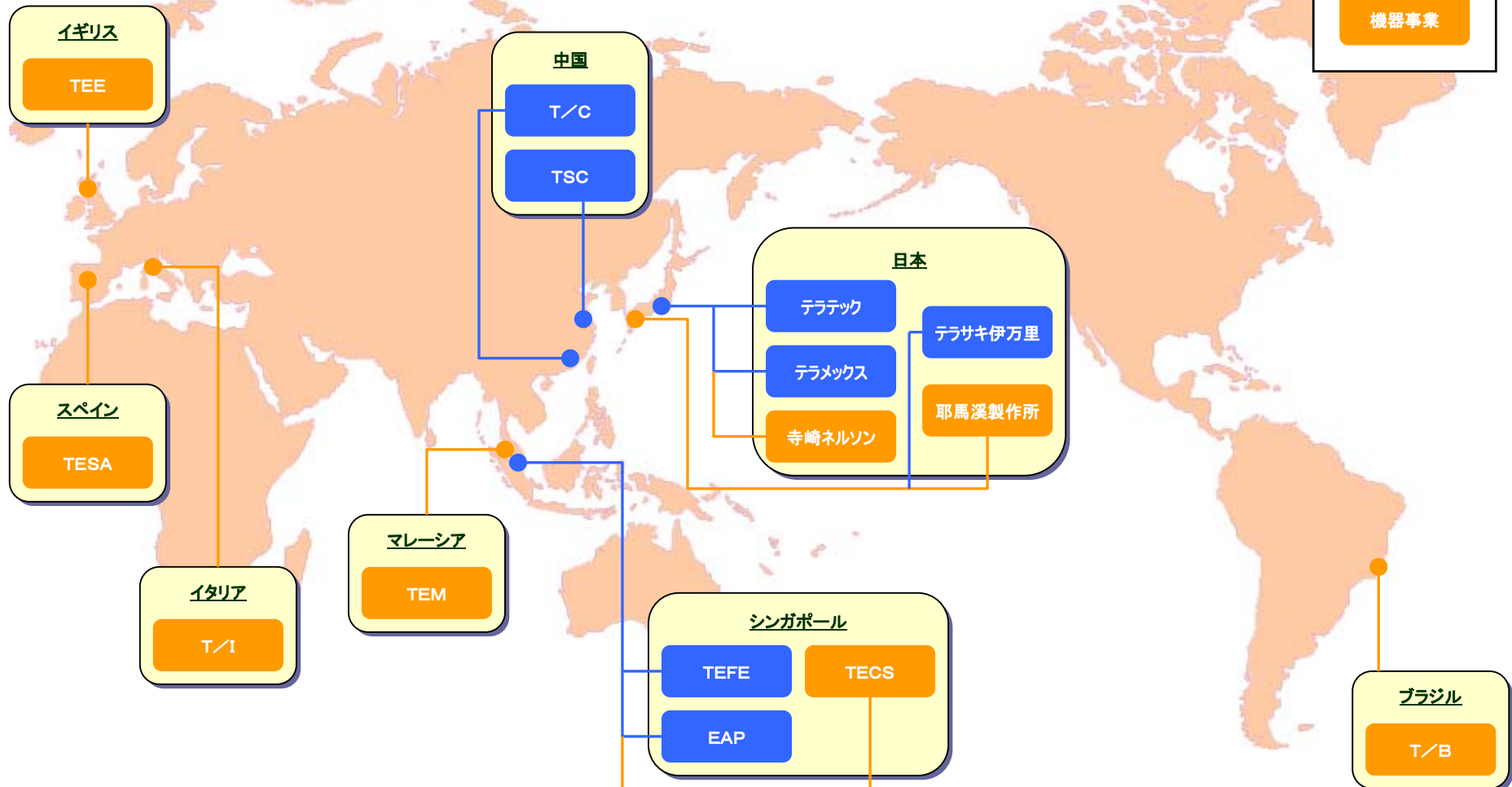
- 低圧遮断器
 - ・気中遮断器(ACB)
 - ・配線用遮断器(MCCB)
 - ・漏電遮断器(ELCB)
- 多線貫通システム(MCT) 等



連結子会社等の所在地

◆グローバルサービスネットワークの構築

2009年9月末現在



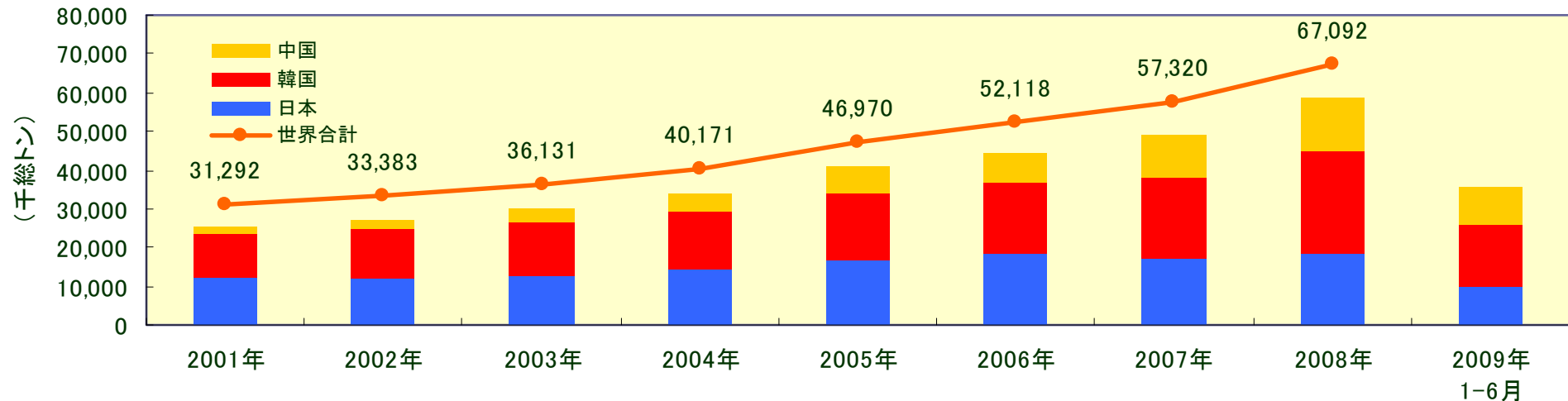
当社を表すキーワード



世界造船業界の動向(竣工量)

2009年1-6月での「世界の新造船竣工量」は
40,026千総トンとなり対前年比18.5%増

日本・・・286隻 10,051千総トン (対前年比 4.0%増)
韓国・・・289隻 15,957千総トン (対前年比 21.7%増)
中国・・・489隻 9,927千総トン (対前年比 54.3%増)



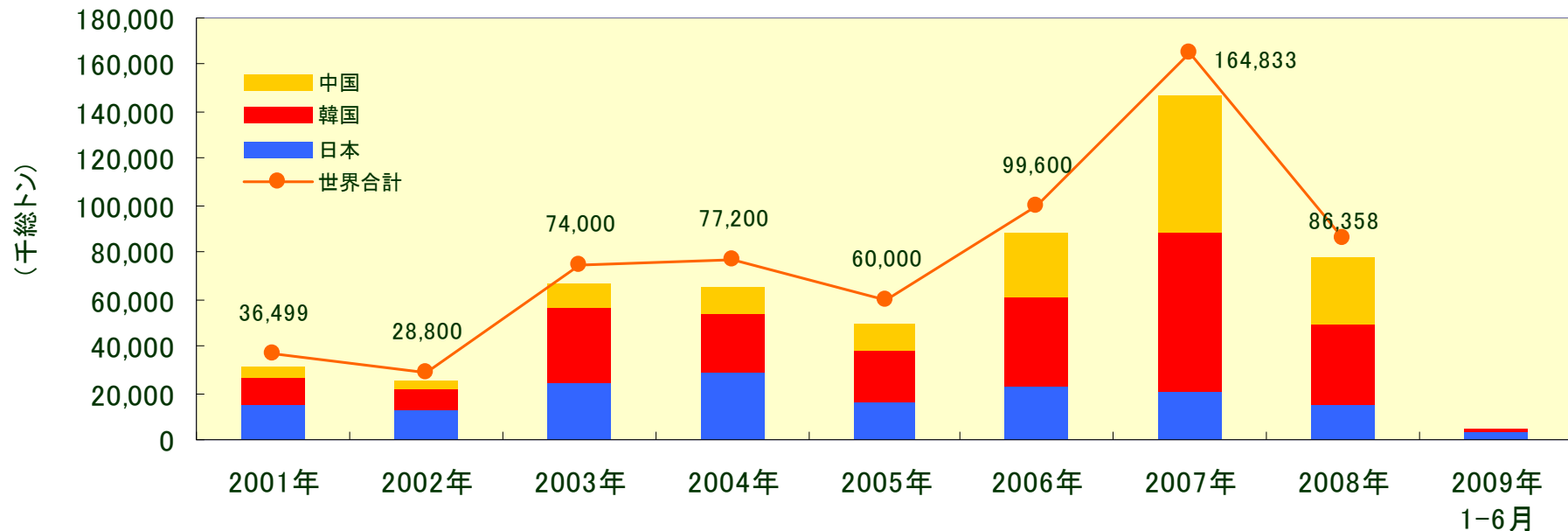
※2009年予測(日本21,582千総トン, 韓国39,335千総トン, 中国41,651千総トン, 世界合計115,326千総トン)
2010年予測(日本19,261千総トン, 韓国44,396千総トン, 中国42,868千総トン, 世界合計119,525千総トン)

(出所)日本造船工業会、Lloyd's Register資料

世界造船業界の動向(受注量)

2009年1-6月での「世界の新造船受注量」は
5,686千総トンとなり対前年比90.1%減

日本・・・114隻 3,263千総トン (対前年比 71.8%減)
韓国・・・ 20隻 949千総トン (対前年比 96.0%減)
中国・・・ 65隻 680千総トン (対前年比 96.1%減)

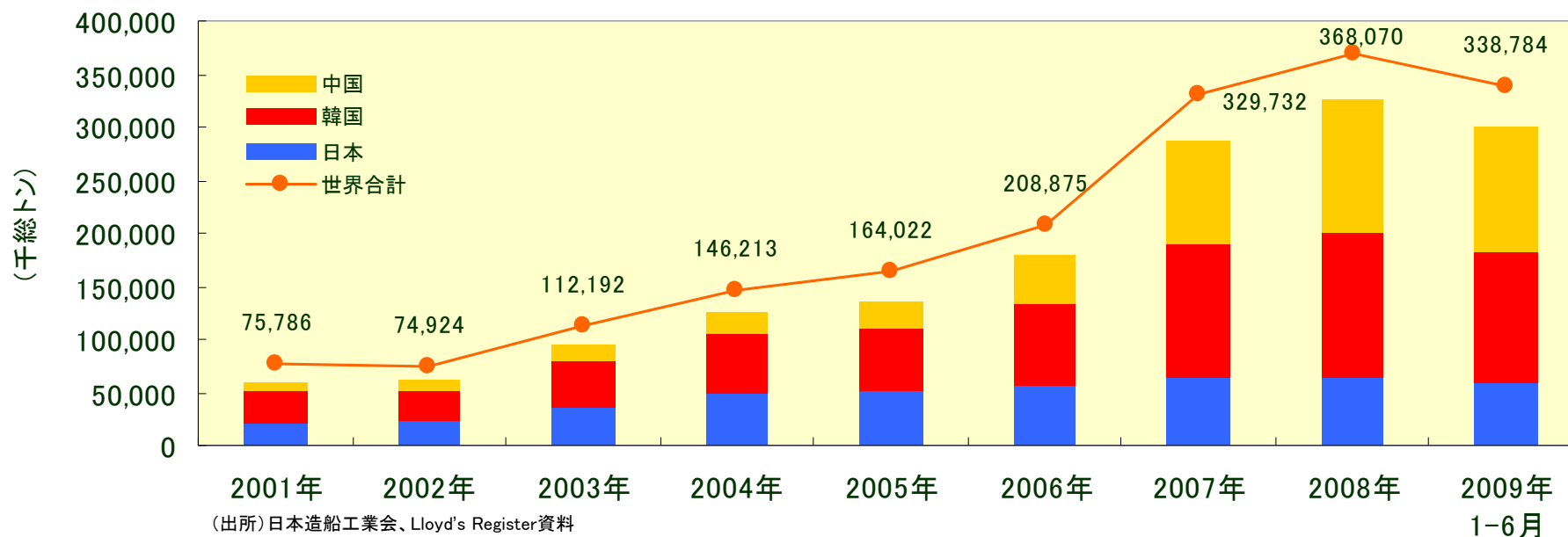


(出所)日本造船工業会、Lloyd's Register資料

世界造船業界の動向(手持工事量)

2009年1-6月での「世界の造船手持工事量」は
338,784千総トンとなり対前年比6.7%減

日本・・・1,472隻 59,176千総トン (対前年比 9.9%減)
韓国・・・2,021隻 122,243千総トン (対前年比12.8%減)
中国・・・3,800隻 117,630千総トン (対前年比 2.6%増)



第2四半期(累計)連結決算のポイント

当第2四半期は、売上高146億19百万円(前期比29.8%減)・営業利益3億28百万円(前期比76.9%減)・経常利益3億24百万円(前期比77.3%減)となる。

結果、個別業績において繰延税金資産の一部取崩しを法人税等調整額へ計上した影響により、四半期純利益では1億12百万円の損失となる。

システム事業

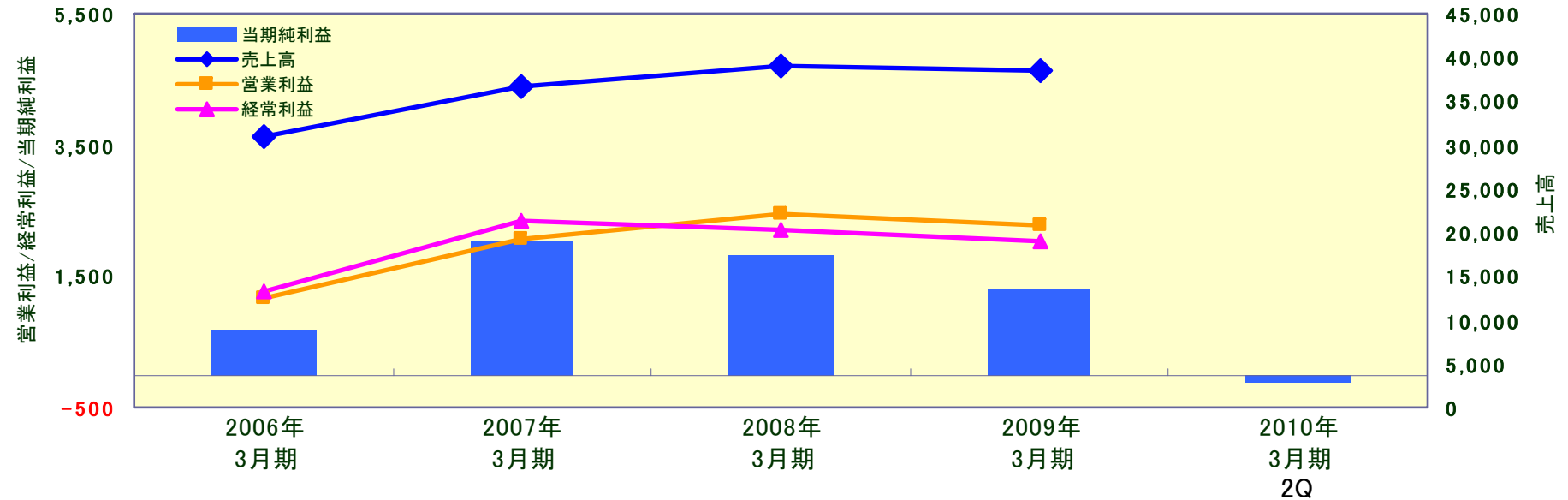
- 船舶用配電制御システムは、納期繰延要求等が発生したものの豊富な受注残を背景に概ね堅調に推移。大型船舶向け製品の需要減少等により、受注・収益面とも前年同期を下回る。
- 産業用配電制御システムは、プラント物件等の民間設備投資の低迷が大きく影響し、受注・収益面とも前年同期を下回る。
- 医療用機器関連等は、需要が好調に推移し、受注・収益面とも前年同期を上回る。

機器事業

- 国内市場は、民間設備投資の抑制傾向が想定以上に長期化し、当社製品の販売環境に厳しい状況となり結果、受注・収益面とも前年同期を大きく下回る。
- 海外市場は、欧州地区で大口物件等の受注・売上はあったものの依然、欧州・オセアニア地区での需要落ち込みが続き、東南アジア地区でも低迷状態で推移したことにより受注・収益面とも前年同期を下回る。

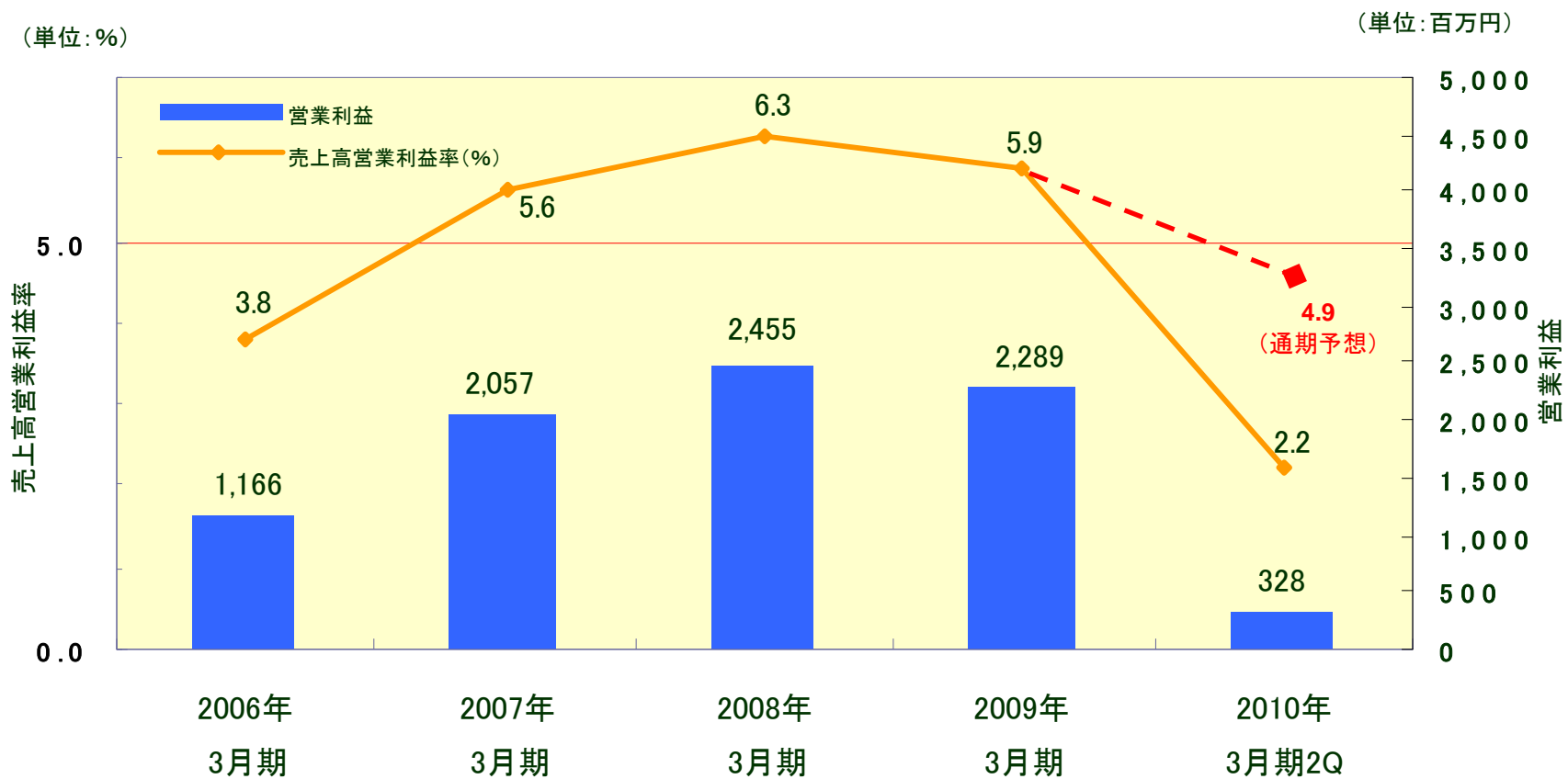
第2四半期(累計)連結決算概要

(単位:百万円)



	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2009年 3月期2Q	2010年 3月期2Q	前年同期 増減	前年同期 増減率
売上高	30,882	36,782	38,957	38,544	20,834	14,619	△6,215	△29.8%
営業利益	1,166	2,057	2,455	2,289	1,419	328	△1,091	△76.9%
経常利益	1,284	2,328	2,201	2,031	1,425	324	△1,101	△77.3%
当期純利益	668	2,021	1,809	1,294	1,025	△112	△1,137	—
1株当たり 当期純利益	(円) 53.42	(円) 167.46	(円) 138.86	(円) 99.37	(円) 78.69	(円) △8.61	—	—

連結営業利益・営業利益率の推移



■ 当社は、売上高営業利益率5%以上を経営目標としております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	2009年 3月期	2010年 3月期2Q	増減
資産の部			
流動資産	24,537	24,015	△522
固定資産	10,271	9,916	△355
資産合計	34,808	33,931	△877
負債の部			
流動負債	14,895	14,334	△561
固定負債	4,812	4,823	11
負債合計	19,708	19,157	△551
純資産の部			
株主資本	16,260	16,017	△243
評価・換算差額等	△1,199	△1,282	△83
その他(少数株主持分他)	39	39	0
純資産合計	15,100	14,774	△326
負債・純資産合計	34,808	33,931	△877

現金及び預金 +469
受取手形及び売掛金
△833
棚卸資産 △208

有形固定資産 △10

短期借入金 △203
1年以内返済予定の
長期借入金 △150

長期借入金 △128

利益剰余金 △242

主要連結財務指標の推移

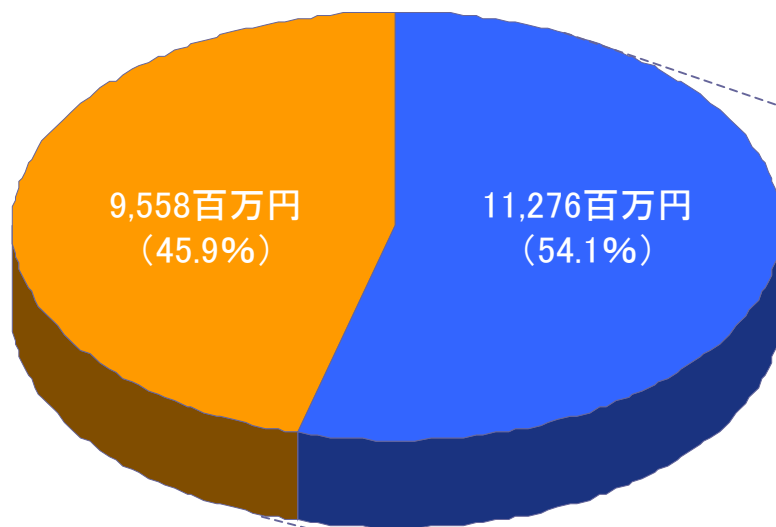
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期2Q
EPS (1株当たり当期純利益)	53円42銭	167円46銭	138円86銭	99円37銭	△8円61銭
BPS (1株当たり純資産)	848円87銭	1,041円45銭	1,133円91銭	1,155円97銭	1,130円96銭
自己資本比率	30.6%	35.8%	39.6%	43.3%	43.4%
ROE (自己資本利益率)	6.9%	17.0%	12.8%	8.7%	△0.8%
有利子負債	9,683百万円	9,218百万円	8,070百万円	7,386百万円	6,904百万円
DELシオ	94.59%	67.93%	54.63%	49.04%	46.86%

■ 当社は、自己資本比率40%以上を経営目標としております。

事業別 連結売上高比率

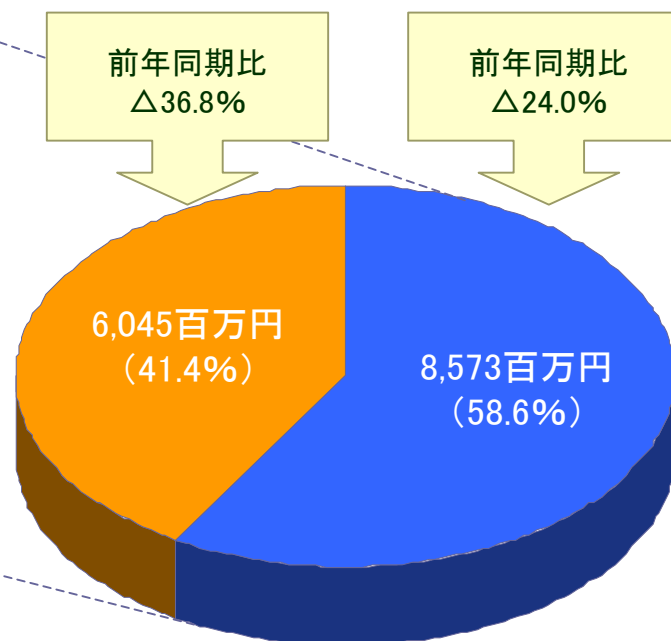
2009年3月期2Q累計期間

合計:20,834百万円



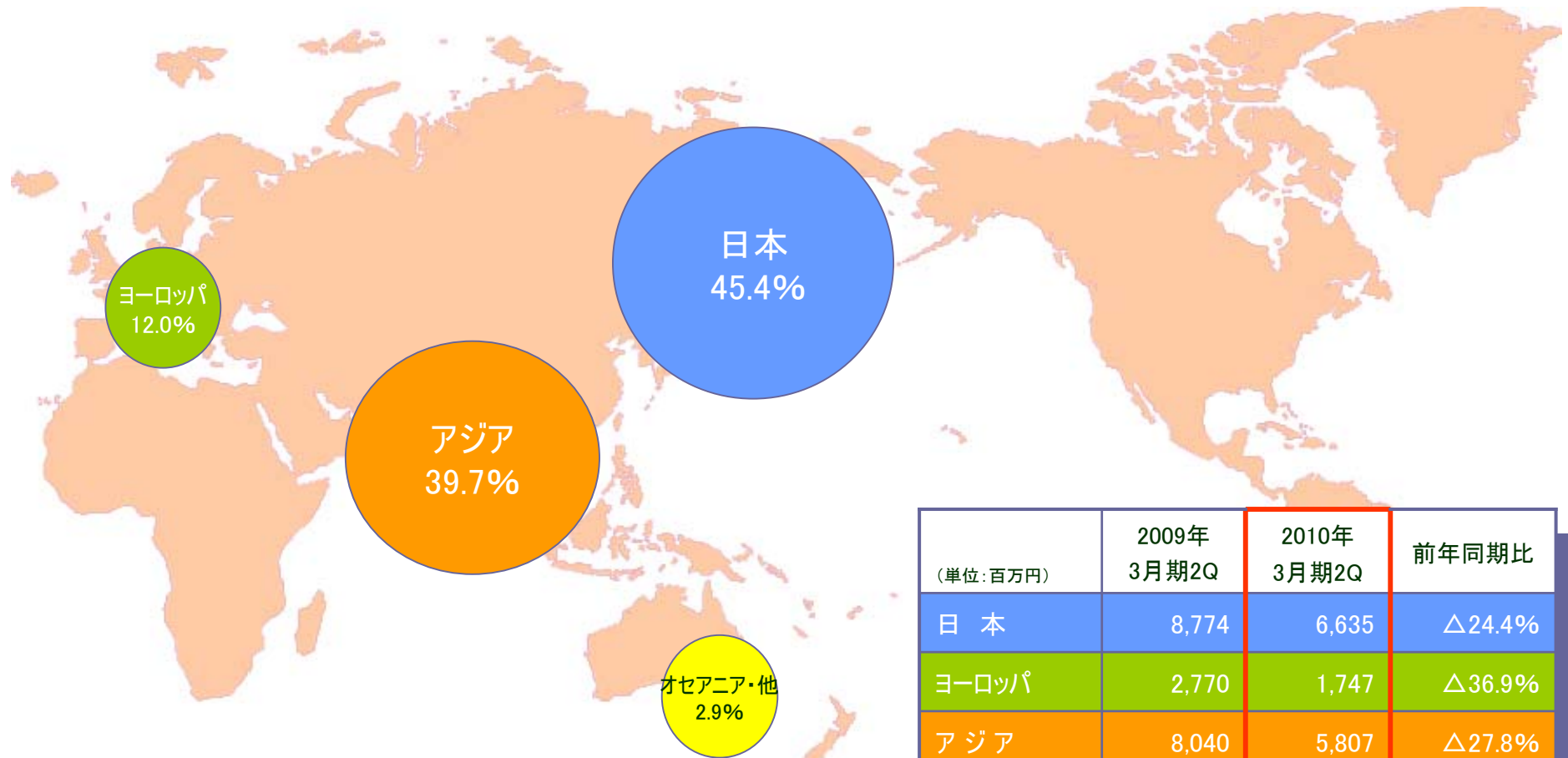
2010年3月期2Q累計期間

合計:14,619百万円



■ システム事業
■ 機器事業

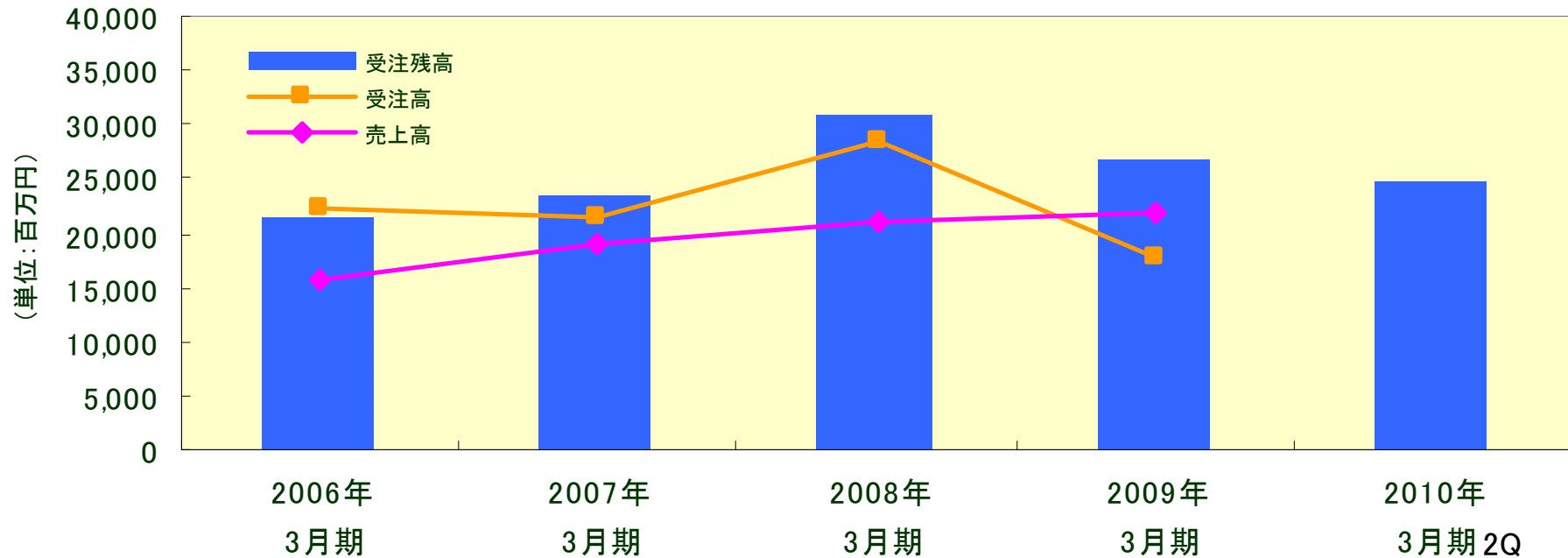
地域別 連結売上高



(単位:百万円)	2009年 3月期2Q	2010年 3月期2Q	前年同期比
日本	8,774	6,635	△24.4%
ヨーロッパ	2,770	1,747	△36.9%
アジア	8,040	5,807	△27.8%
オセアニア・他	1,248	428	△65.8%

(注) 1. ヨーロッパには、中近東含む
2. オセアニア・他には、南北アメリカ、アフリカ含む

システム事業 連結売上・受注・受注残推移



(単位:百万円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期2Q
受注残高	21,293	23,394	30,837	26,731	24,789
受注高	22,371	21,263	28,535	17,758	6,631
売上高	15,566	19,162	21,091	21,864	8,573

◆造船業界では、海運市況の低迷化が続いたことにより新規受注が大きく減少しており、その影響を受け当社受注高も減少傾向が続いております。

2010年3月期 連結業績予想

当社グループを取り巻く下期の国内・海外の市場動向は、民間設備投資等も依然低迷状態が続き、システム事業産業用でのプラント物件及び機器事業製品全般における減少が予想されます。また銅材料等の価格上昇及び信用収縮に伴う景気後退の長期化等により、さらに厳しさが増すものと予想しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結 (増減率)	30,730 (△16.7%)	1,500 (△26.2%)	1,450 (△22.2%)	560 (△25.1%)	42円98銭
単体 (増減率)	19,850 (△8.7%)	△390 (-)	50 (△85.7%)	△290 (-)	△22円26銭

注:本予想値は2009年11月6日に業績予想の修正として発表したものです。尚、年間配当金につきましては前回予想の10円から7円へ減配いたしました。

業績予想の前提(下期為替レート)

1米ドル:90.00円、1英ポンド:140.00円、1豪ドル:70.00円、1ユーロ:125.00円

連結業績予想に係る主な要因及び対策

■システム事業

《船舶用》

- ◆売上は減少するも、過去の受注残を下支えに隻数ベースでは前年度を上回る見込み
日本・韓国・・・LNG船、大型コンテナ船等の大型船が減少
中国　　・・・バルクキャリア、タンカー等の中小型船が増加

◆主な対策

- (1)新製品の市場投入(次世代機関監視記録装置 等)
- (2)船員教育市場 及び オフショア市場への注力
- (3)Eco Shipシステムの拡充(AMP、太陽光発電 等)
- (4)設計から生産に至る一連業務の連携強化システムの確立
- (5)テラサキグループにおける標準化推進 及び 品質強化

連結業績予想に係る主な要因及び対策

■ システム事業

《産業用》

- ◆ プラント物件向け産業用配電制御システムは需要が鈍化するものと予想
- ◆ コージェネレーションシステムは依然低迷すると予想、非常用発電機分野に注力
- ◆ 医療用機器関連にて既存製品 及び 新製品開発により受注拡大

◆ 主な対策

- (1) 国内・海外における電力インフラ整備に向けた設備投資案件の受注強化
- (2) プロジェクトベースでの円高対策(海外調達)の拡大
- (3) 新型高圧配電盤の品質 及び 経済性の追求

連結業績予想に係る主な要因及び対策

■ 機器事業

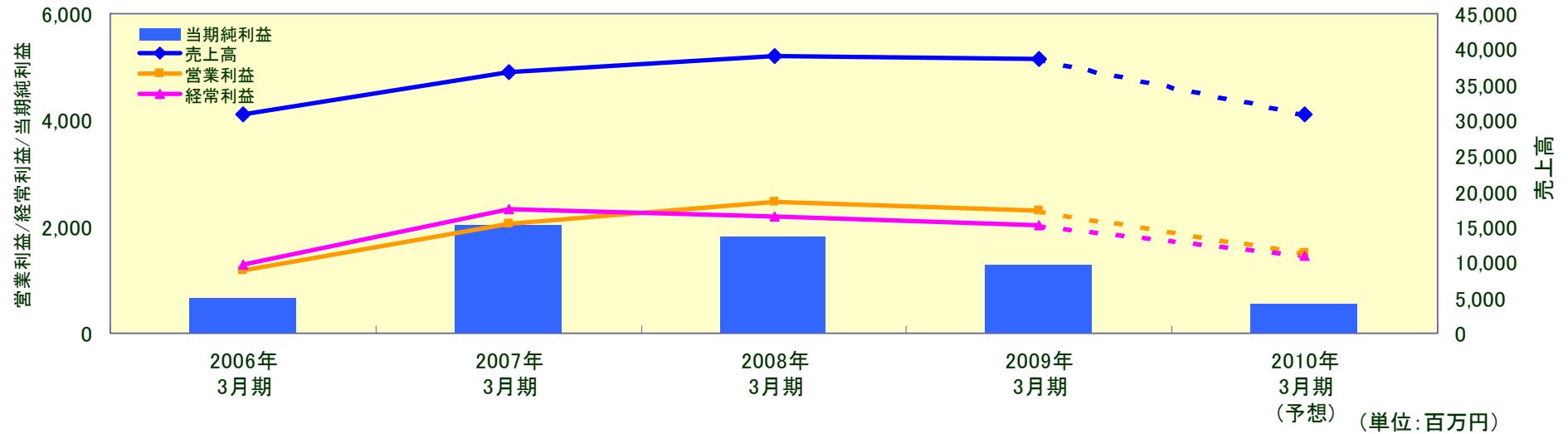
《ブレーカー等》

◆ 国内・海外にて民間設備投資等の低迷が続き、製品全般における売上高減少を予想

◆ 主な対策

- (1) 製品ラインアップ完成に伴い、既存地域 及び 開発地域における
シェアアップ・顧客数増加に注力 ※開発地域…中国を含めた新興国、中近東、東欧 他
- (2) 環境、省エネ関連の新市場に対応した製品開発による拡販支援
及び 営業強化
- (3) 海外調達・海外生産の拡大

連結業績推移と通期予想



	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期 (予想)	前期 増減	前期 増減率
売上高	30,882	36,782	38,957	38,544	30,730	△7,814	△16.7%
営業利益	1,166	2,057	2,455	2,289	1,500	△789	△26.2%
経常利益	1,284	2,328	2,201	2,031	1,450	△581	△22.2%
当期純利益	668	2,021	1,809	1,294	560	△734	△25.1%
1株当たり 当期純利益	(円) 53.42	(円) 167.46	(円) 138.86	(円) 99.37	(円) 42.98	(円) △56.39	△56.7%
1株当たり 配当金	(円) 7.00	(円) 12.00	(円) 12.00	(円) 10.00	(円) 7.00	-	-

経営ビジョン

船用市場における配電制御システムで
世界のリーディングメーカーとして発展する

産業用市場の特定市場向け配電制御システムで
スペシャルメーカーとして発展する

(環境市場・海外プラント市場・医療用機器市場 他)

低圧サーキットブレーカ市場で
世界トップ5のシェアをとる

